



■発生したがながまだ子宮の粘膜炎にだけある時期。
第0期というのは、かなり長期にわたって続く可能性があり、数年間、あるいは十年以上も同様の状態のままであることがあると考えられています。

■がんが子宮頸部だけに限つてあるもの。
子宮頸部の粘膜に発生しますが、深部の組織に浸潤を始めています。まだ子宮だけに限られているとみられる時期です。

■がんが子宮旁結合織に拡がっているが、まだ骨盤壁までは達していない場合、あるいはがんが膈にまで及んでいるが、まだ膈の下方三分の一には達していない場合。

■がんが骨盤壁にまで達した場合または、がんが膈の下方三分の一にまで及んだ場合。
この時期になると、骨盤に沿って走っている神経が圧迫されるので、痛みが起ることがあります。

■がんが膀胱か直腸、またはその両方をおかした場合。また、骨盤を超えてひろがった場合。
第四期では、ほとんど手のつけようがないことが多いのですが、こんなひどいがんはあまりありません。

ガンの中でも、子宮ガンは治るガンの代表のようにいわれています。ここ十〜二十年間の傾向を見ても、子宮ガンによる死亡者数は、次第に下降してきています。それでもなかには、手遅れの状態になってから気がつく人もいます。

子宮ガンの減ってきた大きな理由として、

子宮ガン検診を受けましょう
村では、婦人検診車による子宮ガンの集団検診を来月に予定しています。早期発見が早期治療につながります。若いからと安心せずに、ぜひ年一回は検診を受けるようにしましょう。

■昭和59年度■
子宮ガン検診受診率



暮らしの健康

新・シリーズ(4)
文責/保健婦

女性のガン 子宮ガンについて

健康づくり

たときの生存率では、
0期：一〇〇％ I期：八五％ II期：六五％ III期：三五％ IV期：一〇％(癌研調査)です。早期治療がいかに大切かわかると思っています。

子宮ガン検診を受けましょう
村では、婦人検診車による子宮ガンの集団検診を来月に予定しています。早期発見が早期治療につながります。若いからと安心せずに、ぜひ年一回は検診を受けるようにしましょう。

おめでた おくやみ

(敬称略)

氏名	前住所	新住所
小川 芳則	西船越	西船越
(佐藤) 千代子	和 3	和 3
武田 幸治	和 3	和 3
(和田) 守美江	和 6	和 6
中野 修	和 6	和 6
(梅沢) 千恵美	和 6	和 6
草野 道治	栄 町	栄 町
(野沢) 好	栄 町	栄 町
猪股 光雄	和 1	和 1
(関) 節子	和 1	和 1
五十嵐 永明	橋本	橋本
(小野) 幸子	橋本	橋本

氏名	年齢	死亡日	世帯主	住所
田 優	5・24			石瀬
神田 哲也	5・30			博和8
吉谷 幸	6・2			照雄 西中
皆川 正考	6・4			浩之 岩室
月岡 良一	6・4			良夫 和11
楨田 裕志	6・9			一義 和5

今月の納税
固定資産税(二期)
納期限は七月三十一日
お忘れなく

シリーズで掲載しています、「消費者質問箱」今月は紙面の都合で、お休みさせていただきます。来月からまた再開しますのでご了解ください。今回は「広告が唯一の情報源」というタイトルで、通信販売についてお話しします。

募集 自衛官
▽応募資格：十八歳〜二十五歳未満の男子
▽職種：陸・海・空自衛官
▽身分：特別職の国家公務員
▽問合せ：自衛隊加茂募集事務所(☎〇二五六〇五二二三)か役場総務課企画係(☎〇四一一一内線二〇二)へ

写真コンクール
▽テーマ：簡保資金で建てられた施設(村内では役場庁舎と保健センター)を題材としたもの

鉄道妨害はやめて
新潟鉄道管理局管内における昭和五十九年度に発生した鉄道妨害は、三百五十五件でした。その内容は、無謀な自動車運転による踏切事故、線路横断、歩行による死亡事故、そして列車の正常運転を阻害する線路への置石などが、後をたちません。輸送の安全を確保するため、みなさんのご協力をお願いします。



老人クラブが歩け歩け大会
初夏のまぶしい日差しのなか先月17日、越後七浦シーサイドラインを歩く、「村老人クラブ歩け歩け大会」が行われました。村内各地から参加した140人のお年寄りが角海トンネル前の駐車場をスタート。あふれる日差しと心地よい海の香りのたどよう中を、各人のペースで3.3km。先の間瀬港を目指しました。

足を洗う
「足を洗って出直す」という表現は、それまでの好ましくない仕事と縁を切って、新しくスタートする時などに使われています。
この「足を洗う」の語源には諸説ありますが、農耕民族の日本人にとっては、田や畑での農作業のあと、泥にまみれて汚くなった足を洗う行為と結びつく言葉だったのでしょうか。
田植えや稲刈りのあとの休養を「足洗い」と言い、また新しく村入りをした人がお披露目に酒食をふるまう風習も「足洗い」と呼ばれました。
婚礼の時に花嫁が婚家の入り口で足を洗ったり、あるいは、そのまねをした地方があるのも同様の民俗でしょう。
仏教との関連では、インドの僧がはだして跣に歩いたあと、寺に帰って足を洗ってから説教したのが、「足を洗う」の起りとする説もあります。
寺院のそばには、創建者の高僧が足を洗ったと伝えられる「足洗い」の池や井戸がよくあります。
日蓮が開いた東京・池上の本門寺近くにある洗足池などは、その代表例でしょう。本村の間瀬・白岩手前にも「洗足岩」と呼ばれる岩が海中にあります。